

千葉県 総合計画

千葉の未来をともに創る



千葉県

千葉県 総合企画部 政策企画課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電話:043-223-2483 FAX:043-225-4467

千葉県総合計画の詳しい情報は
千葉県ホームページに掲載しています。

千葉県総合計画



<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/sougou/sinchibakensoukei.html>

概要版

総合計画策定の趣旨

計画の構成・期間

10年後を見据えた課題意識と千葉県が目指す姿

基本構想編

令和7～10年度の4年間で重点的に実施する施策・取組等

実施計画編

頻発化・激甚化する災害や人口減少社会の到来等、本県を取り巻く環境は大きく変化しており、県では、これらの喫緊の課題に対応し、県民の命と暮らしを守る必要があります。

また、本県が持つ「空」「海」などの魅力を磨き上げ、誰もが社会に参加・活躍し、豊かなライフスタイルを実現できる県づくりを加速していくことも必要です。

そこで、千葉県が目指す姿をお示するとともに、その実現に向けて必要となる重点的な施策等を取りまとめた新たな総合計画を策定しました。

Challenge 1

頻発化・激甚化する大規模災害等に備えた危機管理体制の強化と新たな犯罪形態への対応

Challenge 4

超高齢化時代における医療・福祉・介護ニーズの高まりへの対応

千葉の新たな飛躍に向けた

6つのチャレンジ

Challenge 5

多様性を活力とし、誰もが活躍できる社会づくり

Challenge 3

成田空港の拡張事業等に伴う波及効果の最大化

Challenge 2

本格的な人口減少社会への対応

Challenge 6

独自の自然・文化を生かした魅力の発信と千葉に向かう人の流れの創出

基本理念

～千葉の未来をともに創る～

県民を守り、支え、そして飛躍する千葉の実現

基本目標・目指す姿

I

危機管理体制の構築と安全の確保

災害等に対する迅速かつ確かな危機管理体制の構築と防災基盤等の整備が進んでいる千葉。防犯対策と交通安全施策が行き届いている安全・安心な千葉。

II

千葉経済圏の確立と社会資本の整備

成田空港の拡張事業などによるポテンシャルの向上を生かし、地域経済が活性化している千葉。農林水産業が魅力ある力強い産業に育っている千葉。交通ネットワークの整備と社会資本の充実が進む千葉。

III

超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実

健康で生き生きと安心して暮らせる千葉。誰もが住み慣れた地域で個性豊かにその人らしく暮らせる千葉。

IV

こども・若者の可能性を広げる千葉の確立

誰もが結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえられる千葉。児童生徒一人ひとりの可能性を広げ社会で活躍できる人材を育成する千葉。

V

誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現

多様性が尊重され、誰もがその人らしく個性と能力を発揮することができる千葉。多様な主体が連携・協働し様々な課題解決に取り組んでいる千葉。

VI

独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

脱炭素社会や循環経済への移行が進んでいる千葉。里山・里海・里沼が守られ、未来に引き継がれている千葉。様々な「千葉」の魅力の活用により人々が集う千葉。

基本構想編 県づくりの方向性

東京との近接性や、海や山などの豊かな自然、歴史的な経緯などを生かした個性ある地域づくりが進められており、それぞれの特性を生かした産業振興が図られています。

こうした中、成田空港の拡張事業や高規格道路の整備進展を生かし、「人・モノ・財」の流れを拡大することで、産業振興や活力のあるまちづくりの推進や、移住・二地域居住・定住を通じた関係人口の増加などにつなげ、県全体の活性化を進め、県内外から求められる千葉の実現を図ります。

このため、各地域の特性を把握した上で、共通する特性や可能性を持つ地域を6つのゾーンに区分し、地域の活性化に向けた取組の方向性を示します。

東葛・湾岸ゾーン

多様な産業と都市機能の一層の充実を図り、首都圏での都市間競争における更なる優位性向上を図る

- 都市部の特徴を考慮した災害対策、新興感染症対策の推進
- 産学官連携による産業振興、幕張新都心のブランドイメージ向上
- 人・モノの流れのボトルネックとなる交通渋滞解消のための道路整備の加速
- 首都圏各都市や空港とのアクセス向上を生かした、都市間競争における優位性の向上

内房ゾーン

道路網を介した他地域との交流機能を生かし、幅広い産業を活用した地域振興を図る

- アクアライン着岸地というアクセスの優位性を生かした雇用・居住の場としての役割向上
- 東京湾臨海部の工業地域における企業の事業環境の向上
- インターチェンジ周辺等における産業の受け皿づくりの促進
- 海ほたるや大型商業施設、自然を生かした観光施設等の魅力の発信による様々な人の呼び込み
- 幹線道路ネットワークの整備進展、企業誘致、京葉臨海コンビナートの国際競争力強化等による地域振興

南房総・外房ゾーン

海と緑に囲まれた自然環境や多様なライフスタイルの魅力を発信し、観光や移住・二地域居住などを促進することで地域振興を図る

- 緊急輸送道路ネットワークの充実・強化等による孤立集落対策の強化
- 魅力的な自然環境等の発信と成田・羽田両空港からの誘客の促進
- 都心への通勤と様々なライフスタイルを実現可能な魅力の発信による移住・二地域居住の促進
- 6次産業化の支援による農山漁村の活性化、有害鳥獣の地域資源としての活用支援
- 空き公共施設等の地域資源の活用による雇用創出

印旛ゾーン

成田空港の拡張事業等を生かしたまちづくりや空港を核とした国際的な産業拠点の形成などを行い、更なる地域の発展を図る

- 空港の拡張事業や幹線道路ネットワークの整備促進による地域の活性化
- インターチェンジ周辺等における産業の受け皿づくりの促進
- 千葉ニュータウン周辺地域への企業立地の促進による雇用創出
- 豊かな自然や、空港の拡張事業等による雇用増等を生かした様々な人の呼び込み
- 日本遺産等の歴史的資源の保存・継承・活用、外国人観光客も意識した観光地づくりによる誘客促進

香取・東総ゾーン

農林水産業の産地機能の更なる強化を図るとともに、成田空港、北関東・東北方面とのつながりを生かし、多様な産業展開を図る

- 農林水産業における経営体の強化、農林水産物の高付加価値化の促進と海外輸出による販路拡大
- インターチェンジ周辺等における産業の受け皿づくりの促進
- 自然景観、発酵文化等の地域資源の保存・継承と観光プロモーションの推進
- 多様な産業展開や、自然・食等の魅力の発信による移住・二地域居住の促進
- 空港の拡張事業や幹線道路ネットワークの充実・強化を契機とした農林水産業や観光業の振興

九十九里ゾーン

圏央道整備効果を様々な産業活動に取り込むとともに、各種産業の連携や「九十九里」のブランド化を進め、地域振興を図る

- 幹線道路ネットワークの整備効果を生かした各種産業活動の促進
- インターチェンジ周辺等における産業の受け皿づくりの促進
- 体験型観光等による国内外からの観光客の受入体制の強化
- 豊かな自然と良好なアクセスを生かした移住・二地域居住の促進
- 空港の拡張事業や幹線道路ネットワークの整備進展による地域づくり、農林水産業や観光業など産業の連携による地域振興



実施計画編 重点的な施策・取組

I 危機管理体制の構築と安全の確保



1 危機管理体制の構築と「防災県・千葉」の確立

① 激甚化する災害への対応力強化

- 防災連携体制の充実強化 ○自助・共助の取組強化 ○半島性を踏まえた防災対策の推進 ○津波避難・液状化対策の推進
- 消防・救急救助体制の充実強化 ○石油コンビナート防災対策の推進 ○防災DXの推進 ○平時と災害時を一体として捉えた防災対策の推進

② 災害に強いまちづくりの推進

- 災害に強い社会資本の整備 ○建築物・宅地の災害対策の推進 ○農林水産業における災害対策等の推進

③ 新興感染症等健康危機への対応力強化

- 健康危機への対応体制の強化



2 暮らしの安全・安心の確保

① 新たな犯罪形態にも対応する犯罪の起こりにくい社会づくりと被害者等支援の充実

- 防犯対策の推進 ○地域防犯力の向上 ○犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅 ○高度化・多様化するサイバー事案への対策強化
- テロの未然防止 ○警察基盤の整備 ○DV・ストーカー防止と被害者支援の充実 ○犯罪被害者等の支援の充実 ○再犯防止対策

② 「交通安全県ちば」の確立

- 県民総参加でつくる交通安全の推進 ○飲酒運転の根絶 ○高齢者の交通事故防止対策の推進
- 自転車その他小型モビリティの安全利用の推進 ○交通安全教育の充実 ○交通安全環境の整備
- 悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に対する交通指導取締りの強化 ○適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進

③ 安全・安心な消費生活の確保

- 相談・支援体制の充実 ○多様化・複雑化する消費生活に対応した消費者教育の推進
- 悪質事業者対策の強化 ○食の安全と消費者の信頼確保



II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備



1 経済の活性化と更なる飛躍

① 新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進

- 地域の特性に応じた戦略的な企業誘致の推進 ○企業誘致の受け皿となる産業用地整備の推進

② 県経済を担う産業の振興と育成

- 京葉臨海コンビナートの国際競争力強化とカーボンニュートラルの推進 ○再生可能エネルギー産業等の振興
- 産学官連携等を通じた新産業の振興 ○スタートアップの育成によるイノベーションの促進 ○豊富な地域資源を生かした産業の振興
- 産業を支える技術の高度化 ○県内企業の海外取引・輸出の促進 ○MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化

③ 成田空港を核とした国際的な産業拠点の形成と地域づくり

- 国際的な産業拠点や暮らしの受け皿となるエアポートシティの形成
- 成田空港の拡張事業等に伴う様々な波及効果による県経済の活性化
- 成田空港及び周辺地域への交通アクセスの充実・強化 ○成田空港周辺地域の環境対策・地域共生策の推進



④ 観光立県の推進

- 観光人材の確保・育成・定着 ○持続可能な観光地域づくり ○国内観光プロモーションの展開
- インバウンドの推進 ○デジタル技術を活用した観光振興



⑤ 中小企業・小規模事業者の経営基盤強化

- 中小企業・小規模事業者の経営力の向上と持続的な質上げのための環境づくり ○中小企業等のDXの推進
- 資金調達の円滑化 ○販路開拓の促進 ○起業・創業の促進 ○中小企業等の人材確保・育成支援 ○事業承継支援 ○商店街の活性化支援

⑥ 産業人材の育成と就労支援

- 体系的・実践的なキャリア教育等の推進 ○産業界のニーズに応える人材育成 ○雇用の促進と多様な人材の就労支援
- 多様な働き方の実現に向けた環境の整備

2 稼げる農林水産業の推進

① 次世代を担う人材の確保・育成

- 農林漁業者の経営力の向上 ○農林水産業を支える多様な担い手の確保・定着



② 農林水産業の成長力の強化

- スマート農林水産業の加速化 ○生産体制の強化・充実 ○農地利用の最適化
- 持続可能な畜産の実現 ○水産資源の管理と維持・増大 ○農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保
- 環境に配慮した農林水産業と高温対策の推進 ○農林水産業における試験研究の強化



③ 需要を捉えた販売力の強化と輸出促進

- 戦略的な販売促進とブランディングの強化 ○地域資源を活用した需要の創出・拡大 ○新たな販路開拓に向けた輸出促進

3 社会資本の充実とまちづくり

① 半島性を克服する交通ネットワークの強化

- ちばの活力を高める公共交通ネットワークの形成 ○時代の変化に応じた地域公共交通の維持・確保とリ・デザインの推進
- 交流を支える道路ネットワークの整備・有効活用 ○港湾の整備・振興



② 社会資本の適正な維持管理

- 既存施設の適切な維持管理と長寿命化 ○安全で良質な水の安定供給

③ 快適で暮らしやすいまちづくりとスマート自治体の実現

- 次世代に向けたまちづくりの推進 ○安全・安心で魅力あふれるまちづくり ○バリアフリー化の推進
- 環境・景観に配慮した整備・保全 ○豊かな住生活の実現 ○スマート自治体の実現

III 超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実



1 医療提供体制の充実と健康寿命の延伸

① 増大する医療需要への対応

- 医療機関の役割分担と連携の促進 ○在宅医療の充実 ○医師・看護職員の確保・定着対策と地域医療格差解消に向けた取組の推進
- 医療分野のデジタル化の推進 ○救急医療体制の整備 ○周産期・小児救急医療体制の整備
- 自治体病院への支援 ○県立病院の経営安定化と機能強化 ○県立保健医療大学の機能強化

② 生涯を通じた健康づくりと予防医療の推進

- 県民主体の健康づくりの推進 ○生活習慣病の発症予防と重症化予防対策の推進
- 総合的ながん対策の推進 ○こころの健康づくり・ひきこもり対策の推進 ○総合的な自殺対策の推進



2 高齢者福祉と障害者福祉の充実

① 高齢者福祉の充実

- 生涯現役社会の実現に向けた環境整備 ○高齢者の健康寿命の延伸 ○地域包括ケアシステムの深化・推進
- 高齢者が暮らしやすい住まい・まちづくりの推進 ○福祉・介護人材確保・定着対策の推進 ○介護現場の生産性向上の推進や経営の協働化・大規模化
- 高齢者の尊厳を守りながら地域で支え合う仕組みづくりの推進 ○認知症の人や家族などに対する総合的な支援の推進

② 障害者福祉の充実

- 障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現 ○精神障害のある人の地域生活の推進
- 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進 ○障害のあるこどもの療育支援体制の充実
- 障害のある人の相談支援体制の充実 ○障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実 ○障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

② 男女共同参画の推進

- 男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と情報発信
- 男女が共に活躍できる環境づくり

③ 外国人の活躍・共生と国際交流の推進

- 外国人の活躍支援 ○多文化共生の推進 ○国際交流の推進



2 連携・協働による社会づくり

① 多様な主体の連携・協働による社会づくり

- SDGsの考え方の理解促進 ○多様な主体の連携・協働による課題解決の推進
- 地域で支える自立支援体制の整備 ○地域社会を豊かにする県民活動の推進 ○人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

IV こども・若者の可能性を広げる千葉の確立



1 こども・若者施策の充実

① こども・若者の健やかな成長への支援

- こども・若者の権利尊重と社会参画の促進 ○こどもの成長の支援と家庭教育力の向上
- 児童虐待防止と社会的養護が必要なこどもへの支援の充実 ○こどもの貧困対策の推進 ○困難を抱えるこども・若者の支援

② 安心して子育てできる環境づくり

- 保育等の多様な子育て支援サービスの充実 ○保育人材等の確保と資質の向上 ○こどもの成長を支える経済的負担の軽減
- 働きながら子育てしやすい環境づくり ○男女が協力して子育てできる環境づくり ○企業参画による子育て支援

③ 若者の仲間づくりの促進やライフイベントに応じた支援

- 若者の出会いや仲間づくりの支援 ○ライフデザインの構築と結婚の希望をかなえるための支援
- 妊娠・出産の希望をかなえるための支援 ○若者・現役世代の経済的自立と就労支援



2 教育施策の充実

① こどもたちの自信を育む教育の土台づくり

- 優れた教員の確保と教育の質の向上
- 安全安心で魅力ある学校づくり
- 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進
- 多様なニーズに対応した教育の推進 ○教育DXの推進

② 未来を切り拓く「人」の育成

- 人生を主体的に切り拓くための学びの確立 ○豊かな心の育成
- 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進
- 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実
- 郷土と国を愛する心と、グローバル化への対応能力の育成

③ 地域全体でこどもを育てる体制づくり

- 全ての教育の出発点である家庭教育への支援
- 家庭・地域と学校との協働により地域全体でこどもを育てる体制の構築

④ 青少年の健全育成

- 非行・犯罪防止と立ち直り支援
- SNSを通じた犯罪等からこども・若者を守る取組の推進
- 多様な主体による取組と関係機関の機能強化



V 誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現



1 多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現

① 誰もが力を発揮できる社会の実現

- ダイバーシティの普及・啓発 ○誰もがその人らしく個性や能力を発揮できる環境づくり ○性的マイノリティの生きづらさの解消

VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造



1 脱炭素化と循環経済の推進

① 地球温暖化対策の推進

- 再生可能エネルギー等の活用促進 ○省エネルギーの促進 ○温暖化対策に資する地域環境の整備・改善
- 脱炭素型ライフスタイルへの転換 ○気候変動の影響に対する適応の推進



② 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行

- 資源循環の基盤となる産業づくり ○「3R」を推進するためのライフスタイルづくり ○廃棄物等の適正処理の推進
- 不適正なヤードの一扫 ○産業廃棄物の不法投棄の根絶に向けた監視・取締りの強化 ○再資源化に向けた取組の推進 ○環境学習等の推進

2 環境の保全と豊かな自然との共生

① 豊かな自然環境と大気・水環境の保全

- 豊かな自然環境の保全と快適な利用促進 ○良好な大気環境の確保 ○騒音の少ない暮らしの確保
- 良好な水環境・土壌環境・地盤環境の保全 ○多様な環境問題に関する調査・研究及び環境情報の提供



② 野生生物の保護と適正管理

- 生態系の保全と希少な野生生物の保護・回復 ○有害鳥獣対策の強化 ○特定外来生物の防除

3 千葉の魅力の向上と活用

① 半島性を活用した「千葉」のブランディングと移住・二地域居住の促進

- 海の魅力の充実・強化と発信 ○多様な「ちば文化」のブランド化 ○多様な発酵文化・産業を通じた本県の魅力発信
- 地域の特色を生かした移住・二地域居住の促進 ○「千葉」の魅力の戦略的な発信

② 地域の特色を生かした農山漁村の活性化

- 農山漁村を支える活力の創出 ○農山漁村における地域資源の活用
- 有害鳥獣被害の対策強化と「房総ジビエ」の普及拡大 ○海業の推進等による海辺と水辺の活性化



4 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

① 文化芸術の振興

- 県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実 ○文化芸術を通じた連携・協働
- 多様な伝統文化の保存・継承・活用 ○ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

② スポーツの振興

- 人生を豊かにするスポーツの推進 ○誰もが共に楽しめるパラスポーツの推進 ○スポーツ環境の整備・充実 ○競技力の向上
- スポーツの価値の発信 ○スポーツによる地域づくりの推進

行政経営の基本的視点

多様化・複雑化する課題に、迅速かつ的確に対応するため、
県行政を「経営する」という観点から、本計画を効果的・効率的に推進するための
基本的な視点を掲げました。



指標一覧 (89の社会目標)

政策分野・指標名	現状	目標	政策分野・指標名	現状	目標
I 危機管理体制の構築と「防災県・千葉」の確立					
3日以上の備蓄をしている県民の割合	食料品 48.9% 飲料水 54.1% (令和6年度)	食料品 65.0% 飲料水 70.0% (令和10年度)	II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備		
自主防災組織による防災訓練の実施回数	1,729回 (令和5年度)	2,600回 (令和10年度)	経済の活性化と更なる飛躍		
被災者支援システムの導入市町村数	4市町村 (令和6年度)	54市町村 (令和10年度)	県内への企業立地件数	85件 (令和3年~6年平均)	340件 (令和7年~10年合計)
無電柱化の事業着手した延長	56km (令和6年度)	83km (令和10年度)	県内製造品出荷額等	15兆8,925億円 (令和4年)	増加を目標します (令和10年)
地籍調査面積	929km ² (令和6年度)	1,147km ² (令和10年度)	県内年間商品販売額	14兆1,768億円 (令和4年)	増加を目標します (令和10年)
健康危機対策研修者数	26,963人 (令和6年度)	53,000人 (令和10年度)	成田空港の航空旅客数	4,077万人 (令和6年度)	増加を目標します (令和10年)
くらしの安全・安心の確保			成田空港の輸出入総額	36兆8,334億円 (令和6年)	増加を目標します (令和10年)
刑法犯認知件数	38,394件 (令和6年)	減少を目標します (令和10年)	空港周辺9市町における人口の社会増	2,802人 (令和6年)	増加を目標します (令和10年)
自主防犯団体の数	3,090団体 (令和6年)	増加を目標します (令和10年)	観光総消費額	1兆8,053億円 (令和5年)	2兆1,500億円 (令和10年)
交通事故24時間死者数	131人 (令和6年)	110人 (令和10年)	延べ宿泊者数 (うち外国人延べ宿泊者数)	2,829万人 (うち外国人441万人) (令和6年)	3,200万人 (うち外国人550万人) (令和10年)
交通事故重傷者数	1,472人 (令和6年)	1,300人 (令和10年)	従業者一人当たりの付加価値額	610.9万円 (令和4年度)	増加を目標します (令和10年度)
消費者トラブルにあったときの相談窓口の認知度	13.6% (令和6年度)	30.0% (令和10年度)	有雇用事業所数による開業率	4.5% (令和5年度)	増加を目標します (令和10年度)
			将来の夢や目標を持っている中学生の割合	65.4% (令和6年度)	全国平均以上を目標します (令和10年度)
			完全失業率	2.5% (令和5年)	減少を目標します (令和10年)
			1人当たり月所定外労働時間	9.4時間 (令和5年)	減少を目標します (令和10年)

政策分野・指標名	現状	目標
II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備		
稼げる農林水産業の推進		
新規就農者数	339人 (令和6年度)	400人 (令和7年度~10年度平均)
新規漁業就業者数	22人 (令和6年度)	50人 (令和7年度~10年度平均)
農業産出額	4,029億円 (令和5年)	4,200億円 (令和10年)
県内漁港水揚金額	443億円 (令和4年)	450億円 (令和10年)
農業経営体当たりの生産農業所得	380万円 (令和3年~5年平均)	500万円 (令和10年)
漁業経営体当たりの漁業所得	514万円 (令和元年~5年平均)	540万円 (令和10年)
農業・漁業生産関連事業の年間販売金額	795億円 (令和4年度)	850億円 (令和10年度)
県産農林水産物の輸出額	106億円 (令和3年~6年平均)	110億円 (令和10年)
社会資本の充実とまちづくり		
県都1時間圏	79% (令和6年度)	80% (令和10年度)
県内の主要都市から県都千葉市までの都市間連絡速度	40.0km/h (令和6年度)	40.1km/h (令和10年度)
基幹幹線の耐震適合率	62.6% (令和5年度)	65.5% (令和10年度)
修繕が完了した橋りょう数	253橋 (令和6年度)	473橋 (令和10年度)
立地適正化計画策定市町村数	14市町村 (令和6年度)	22市町村 (令和10年度)
汚水処理人口普及率	91.2% (令和5年度)	93.7% (令和10年度)
行政手続のオンライン化率	63.0% (令和6年度)	98.0% (令和10年度)
III 超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実		
医療提供体制の充実と健康寿命の延伸		
かかりつけ医の有無	66.3% (令和6年度)	69.0% (令和10年度)
地域の医療体制に安心を感じている県民の割合	65.5% (令和6年度)	70.0% (令和10年度)
積極的に健康づくりに取り組んでいると感じている県民の割合	62.2% (令和6年度)	増加を目標します (令和10年度)
がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	64.9 (令和5年)	減少を目標します (令和10年)
日常生活動作が自立している期間の平均(65歳の平均自立期間)	男性 18.17年 女性 21.06年 (令和3年度)	延伸を目標します (令和10年度)
IV こども・若者の可能性を広げ、千葉の確立		
高齢者福祉と障害者福祉の充実		
高齢者施策について満足している県民の割合	16.4% (令和6年度)	35.0% (令和10年度)
介護予防・日常生活支援総合事業における「多様なサービス」(訪問型及び通所型)に取り組む市町村数	47市町村 (令和6年度)	54市町村 (令和10年度)
「共生社会」という考え方を知っている県民の割合	35.6% (令和6年度)	50.0% (令和10年度)
地域生活支援拠点等が整備されている市町村数	38市町村 (令和5年度)	54市町村 (令和10年度)
V 誰もがその人らしさを発揮し、分け合い合える共生社会		
子ども・若者施策の充実		
ちば・うみやま保育認証団体数	106団体 (令和6年度)	230団体 (令和10年度)
こども家庭センターの設置市町村数	23市町村 (令和6年4月1日現在)	54市町村 (令和9年度)
里親等委託率	34.9% (令和5年度)	39.1% (令和10年度)
地域子育て支援拠点の数	364箇所 (令和6年度)	387箇所 (令和10年度)
保育所等の待機児童数	91人 (令和7年4月1日現在)	解消を目標します (令和11年4月1日現在)
放課後児童クラブの待機児童数	1,181人 (令和6年5月1日現在)	解消を目標します (令和11年5月1日現在)
地域少子化対策重点推進事業を実施している市町村数	32市町村 (令和6年度)	増加を目標します (令和10年度)
若年者の就労支援施設を通じて就職した正規雇者の割合	59.5% (令和6年度)	増加を目標します (令和10年度)
VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造		
教育施策の充実		
月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合	31.9% (令和6年度)	減少を目標します (令和10年度)
いじめ認知件数に対する解消率	78.9% (令和5年度)	増加を目標します (令和10年度)

政策分野・指標名	現状	目標
授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童生徒の割合	小学校 81.7% 中学校 80.3% (令和6年度)	全国平均以上を目標します (令和10年度)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小学校 83.7% 中学校 83.2% (令和6年度)	全国平均以上を目標します (令和10年度)
小学校における新体力テストの平均点	47.1点 (令和6年度)	49.5点 (令和10年度)
コミュニティ・スクールを導入した公立学校の割合	48.7% (令和6年度)	全国平均以上を目標します (令和10年度)
地域学校協働本部が整備された公立学校の割合	72.2% (令和6年度)	増加を目標します (令和10年度)
インターネット適正利用啓発講演を実施している市町村数	43市町村 (令和6年度)	54市町村 (令和10年度)
V 誰もがその人らしさを発揮し、分け合い合える共生社会		
多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現		
ダイバーシティという考え方を知っている県民の割合	47.4% (令和6年度)	60.0% (令和10年度)
社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合	11.3% (令和6年度)	20.0% (令和10年度)
県庁の女性管理職の割合	12.6% (令和6年度)	18.5% (令和10年度)
地域日本語教室が開設されている市町村数	39市町村 (令和6年度)	増加を目標します (令和10年度)
県の姉妹・友好都市交流への参加者数	248人 (令和6年度)	350人 (令和10年度)
チーバくんグローバルパートナーズとして県や関係団体の活動に参加した人数	189人 (令和6年度)	356人 (令和10年度)
連携・協働による社会づくり		
「ちばSDGsパートナー登録制度」の登録数	2,496件 (令和6年度)	3,600件 (令和10年度)
脱炭素化と循環経済の推進		
エネルギー起源二酸化炭素排出量の推計値	6,097.4万t-CO ₂ (令和4年度)	5,116.2万t-CO ₂ (令和10年度)
再生可能エネルギー導入比率	16.2% (令和5年度)	23.9% (令和10年度)
森林整備面積	854ha (令和6年度)	904ha (令和10年度)
電動車保有台数	62.4万台 (令和5年度)	89.3万台 (令和10年度)
産業廃棄物の最終処分量	26.7万t (令和5年度)	24.8万t (令和10年度)
一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	482g (令和5年度)	452g (令和10年度)
環境の保全と豊かな自然との共生		
光化学スモッグ注意報の年間発令日数	8.0日 (令和3年度~6年度平均)	8.0日以下 (令和7年度~10年度平均)
河川・湖沼・海域の水質環境基準達成率(BOD・COD)	68.2% (令和5年度)	87.1% (令和10年度)
イノシシの捕獲数	25,927頭 (令和3年度~5年度平均)	30,000頭 (令和10年度)
キョンの生息数	約86,000頭 (令和5年度)	77,000頭 (令和10年度)
千葉の魅力の向上と活用		
人口の社会増	15,289人 (令和6年)	50,000人 (令和7年~10年合計)
メディアに取上げられた件数	13,363件 (令和6年度)	増加を目標します (令和10年度)
直売所の年間販売金額	483億円 (令和4年)	500億円 (令和10年)
農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図るため農業者等が共同で取り組む活動面積	34,348ha (令和5年度)	増加を目標します (令和10年度)
千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興		
この1年間に文化芸術を鑑賞した県民の割合(オンラインでの鑑賞を含む)	77.0% (令和6年度)	85.0% (令和10年度)
この1年間に鑑賞を除く文化芸術活動をした県民の割合(オンラインでの活動を含む)	28.9% (令和6年度)	41.8% (令和10年度)
成年の週1回以上のスポーツ実施率	53.9% (令和6年度)	70.0% (令和10年度)
この1年間にパラスポーツの体験や観戦をしたことのある成年の割合	17.2% (令和6年度)	50.0% (令和10年度)

